



国土交通省では、3年目の今年度を「深化の年」として、「生産性革命」を加速させるため一層の普及推進を図っているところです。

北陸地方整備局においても、ICT技術活用の拡大、コンクリート工の生産性向上、施工時期の平準化を推進し、建設現場のプロセス全体の最適化を図り、魅力ある建設現場の実現を目指していきます。

最新ニュース

5月22日(火)に「平成30年度第1回i-Construction推進本部会議」を開催し、今年度の実施方針を決定しました。

【ICT技術の活用】

- ・ICT土工工事の施工者希望型の盛土工事において、8,000m³以上をI型に拡大。
- ・ICT河川浚渫工事(バックホウ浚渫)、防波堤等のICT基礎工事、ICTブロック据付工事を新規対象。
- ・北陸ICT戦略研究会(整備局、各事務所、自治体及び業団体)で分担・連携し、講習会の参加機会を拡大。
- ・各施工プロセスに特化した専門的な講習会を今年度より開催し、ICT実践者のスキルアップを図る。
- ・CIM活用工事に対応するための講習会、現場見学会を今年度より実施。
- ・管内自治体と連携し、自治体主催のICT技術活用研修等への整備局職員の派遣を拡大。
- ・「橋梁」、「トンネル」、「河川構造物」、「道路」の詳細設計を対象に、CIM活用業務、CIM活用工事を実施。



推進本部長(局長)

【規格の標準化】

- ・予備設計段階からの比較案検討を継続実施。
- ・プレキャスト製品選定フロー(案)検討を継続実施。

【施工時期の平準化】

- ・債務負担行為(ゼロ国含む)や繰越制度の活用、早期発注により平準化を推進。
- ・四半期毎の「平準化の見通し」について、地整全体、事務所単位、ブロック単位でとりまとめ、情報共有・見える化を図る。
- ・国、自治体等の発注見通しの統合・公表地域の拡大。



会議開催状況

本号の掲載内容

ICT技術の活用

平成29年度発注工事のICT活用状況、ICT活用工事講習会開催、積算基準の改定

規格の標準化

なし

施工時期の平準化

なし

平成29年度発注工事におけるICT技術活用状況

北陸地方整備局では、ICT土工工事 57件(内11件は完了)、ICT舗装工事 6件(うち1件完了)において実施中。自治体においても、43件のICT土工工事を発注。

<凡例>

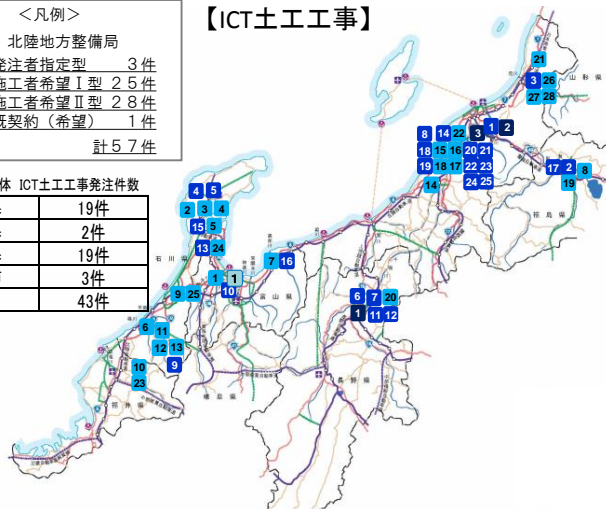
北陸地方整備局

- : 発注者指定型 3件
 - : 施工者希望I型 25件
 - : 施工者希望II型 28件
 - : 既契約(希望) 1件
- 計57件

【ICT土工工事】

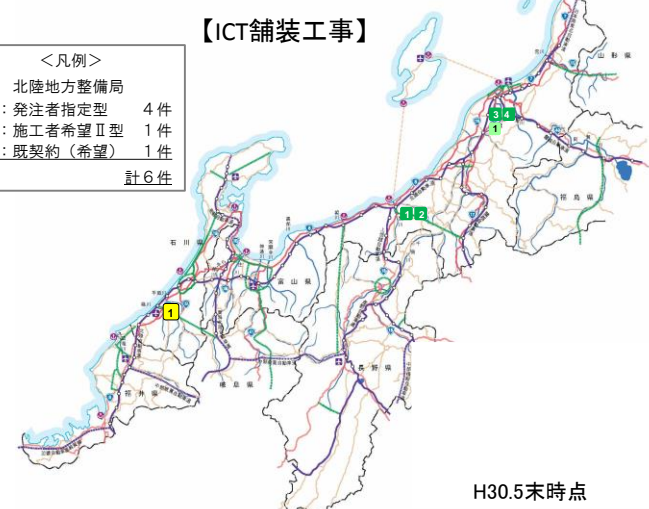
[参考]自治体 ICT土工工事発注件数

新潟県	19件
富山県	2件
石川県	19件
新潟市	3件
計	43件



【ICT舗装工事】

- : 発注者指定型 4件
 - : 施工者希望II型 1件
 - : 既契約(希望) 1件
- 計6件



平成30年度ICT活用講習会(入門者クラス)を開催

昨年度と同様、今年度も「入門者クラス」と「実践者クラス」のレベル毎に分け、参加者についても整備局と建設関連団体に加え、地方自治体および測量・建設コンサルタント業界団体も参加可能とした。また、今回の講習会より各自治体の取組についてもプログラムに加え、さらに幅広い普及・拡大をめざし、石川、富山、新潟の3会場で開催し、延べ577名が受講した。

1. 開催場所及び日時

全体で577名の技術者が受講。

名称	会場	日時	受講者		合計
			内訳		
平成30年度 ICT活用講習会 (石川会場)	石川建設 総合センター	平成30年 5月15日(火) 13:30~16:30	民間	109名	124名
			自治体	8名	
			整備局	7名	
平成30年度 ICT活用講習会 (富山会場)	北陸地方整備局 北陸技術事務所 富山防災センター	平成30年 5月16日(水) 13:30~16:30	民間	109名	127名
			自治体	11名	
			整備局	7名	
平成30年度 ICT活用講習会 (新潟会場) 【午前の部】	北陸地方整備局	平成30年 5月23日(水) 9:00~12:00	民間	132名	165名
			自治体	10名	
			整備局	23名	
平成30年度 ICT活用講習会 (新潟会場) 【午後の部】	北陸地方整備局	平成30年 5月23日(水) 14:00~17:00	民間	122名	161名
			自治体	13名	
			整備局	26名	



石川会場



富山会場



新潟会場(午前)



新潟会場(午後)



実機を持ち込んでの説明

2. 講義内容

- ① ICT活用工事の概要
- ② ICT活用工事の流れ
- ③ UAV空中写真測量、TLS測量の概要
- ④ 自治体からのお知らせ

講師:北陸地方整備局 企画部

講師:(一社)日本建設機械施工協会 i-Construction普及WG

講師:(一社)全国測量設計業協会連合会北陸地区協議会

講師:石川県・富山県・新潟県・新潟市

3. 実施結果

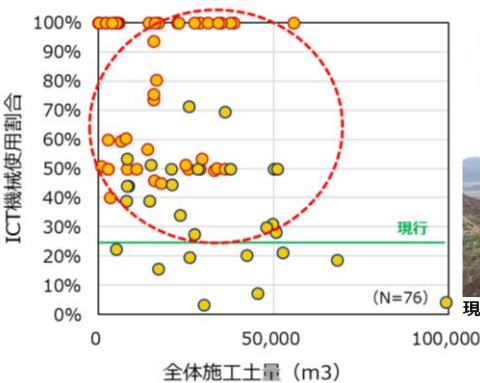
全ての会場において募集人数を超える申し込みがあり、多数の技術者が受講。

UAV、TLSについては実機を用いて説明。また、UAV作業中の事故を防ぐため、航空法などのルールについての説明も行った結果、アンケートでは「実機を親れてよかった」、「航空法について初めて知った」、「ICT工事の流れがわかりやすかった」との声が多かった。

積算基準の改定

- ・施工土量5万m³以下の工事では、ICT機械の使用割合が高い傾向にあり、現行の積算基準で設定している**ICT建機使用割合(25%)を超える工事が9割以上存在**
- ・施工状況等により使用割合が大きく変化していることから、ICT施工を普及拡大する観点も踏まえ、当面の措置として**積算基準、要領を改定し、ICT建機の稼働率を用いた施工数量による変更積算**とする

ICT建機使用割合(施工土量ベース)



現地状況等に応じて、ICTと従来型の建機を使用

(従来)

ICT歩掛 (ICT建機25%+通常建機75%) × 施工土量

※ICT建機利用率は一律



(改善)

ICT歩掛 (ICT建機100%) × 施工土量 α

+

通常歩掛 (通常建機100%) × 施工土量 β

現場に応じてICT建機で施工する土量を設定

i-Construction推進本部 事務局

(問い合わせ先) 北陸地方整備局 地方事業評価管理官 (2118)

企画部 技術管理課長 (3311)

企画部 施工企画課長 (3451)

〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1 新潟美咲合同庁舎1号館 Tel025-280-8880(代)